

## 【メカニズム】

### 皮膚における外的刺激からの防御機構

生物学的な視点から見ると皮膚の炎症は、不快ではあるものの潜在的な危険の存在を警告し、人体に有害なもの(紫外線、有害物質など)から身を守るといった大切な機能を担います。この過程において、幾多の種類におよぶ細胞と化学的物質の相互反応が関係しており、結果としてかゆみ・腫れ、発熱といった明確に自覚できる症状を呈します。これはいわば、生まれながらに備わった自己防衛機能といえます。

とはいえ、起きてしまった炎症は早く抑えたいものですし、炎症に対し過敏になることも避けたいものです。

ここでは、いく通りもある炎症反応の一部を抑制するしくみについてご紹介いたします。

